
友達な関係？

神童サーガ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
友達な関係？

【Nコード】
N4384F

【作者名】
神童サーガ

【あらすじ】
想いは伝わったら幸せになれるのか？鈍感な二人の短編

「いゝひっひっひ」

「キモい」

変な笑い声を上げた少年に、冷たく切り捨てた少女。

「ヒドいよー！！鈴！！」

「・・・はあ、どうしたの？永海」

少年の名前は、永海^{ナミ}で、少女の名前は、鈴^{スズ}

「なんか、たまにさあ叫びたくなることってあるよね？」

「アレは叫びか？奇妙な笑い声だろ」

ナミの笑い声は、魔法使いのお婆さんみたいで怖い。

「口調怖いよースズ」

「ナミの笑い声の方が怖い」

スズの言葉に、ムスーッと怒ったナミ。

「そつえば、スズって告白されたよね？また」

「ナミだって・・・」

「スズは、女の子からもじゃん！！」

ズルイよお、と言ったナミ。

果たしてこれは、どちらの感情なのか？

「（僕の方がスズのこと知ってるのに）」

どうやら、恋ですね。まだムカムカしてるナミ。

「（ナミって鈍感だから、私の気持ちなんて分らないよなあ）」

まあ、なんと！！両思いみたいです。
こちらから言えば、スズも鈍感なので、叶うことはあるのか分り
ません。

「前に、スズ・・・好きな人がいるって言ってたよね？」

「・・・ナミも」

二人は、あれ？そうだったけ？と思った。

忘れたみたいだ。お互いが好きだからこそ、言い張ってしまった。
嫉妬の対象は、相手の想い人だと思ったら、自分だった。

「ほらっ、野球部のエースがスズに好意を抱いてたって・・・学校で、一・二を争うイケメン君」

「吹奏楽部のフルートの子・・・学校で美少女って言われてる」

虚しくなるだけなのに、宣伝してる二人。

なぜ自分を、宣伝しないのか？

自分より、話したことの無い人が、似合うとも思ってるのか？

「小さい頃からナミを知ってたけど、誰なんだろう？私の知らない人かな・・・」

「僕だって、スズを知ってたけど、こればかりは分らない」

それは、考えるだけ無駄なこと。

鈍感な二人が考えても、地球が何億周しても分らないだろう。

「まあ、例え誰かと付き合っても仲良くしよう?」

「……うん。幼馴染みだしね」

結局諦めてしまった二人。

鈍感な二人、くつつくと意味不明な会話になってしまっようだ。
この二人が、付き合う日はくるのだろうか!?

オマケ

「はいつカット!」

お疲れ様でした、と言った二人。
監督は、やっぱ二人は良いねー、と言った。

「まあ、実際付き合ってるしね」

「そうね。でも、たまにはこういうのも良いね。ナミ君が更に好きになったもの」

「僕もだよ。スズちゃんが大好きになった」

人目を憚らず抱き合う二人。

監督は、またか、と呆れた声を出す。

こんな終わりもたまには、良いんじゃない？
要素は恋愛じゃなくバラエティだし。

でも、実際に愛し合ってたのは驚きました。

（後書き）

まあ、たまにはこういう終わりもいいよね。ドラマだったら楽しいかな。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4384f/>

友達な関係？

2010年12月9日14時56分発行